

第二級陸上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問

法 規

〔1〕 無線局の免許状に記載される事項はどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線設備の設置場所
- 2 無線従事者の氏名
- 3 免許人の国籍
- 4 工事落成の期限

〔4〕 第二級陸上特殊無線技士の資格を有する者の無線設備の操作の対象となる「陸上の無線局」に該当するものはどれか。次のうちから選べ。

- 1 基地局
- 2 海岸局
- 3 航空局
- 4 基幹放送局

〔2〕 無線局の免許人は、電波の型式及び周波数の指定の変更を受けようとするときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 総務大臣に電波の型式及び周波数の指定の変更を届け出る。
- 2 総務大臣に電波の型式及び周波数の指定の変更を申請する。
- 3 あらかじめ総務大臣の指示を受ける。
- 4 免許状を総務大臣に提出し、訂正を受ける。

〔5〕 無線局（総務省令で定めるものを除く。）の免許人は、主任無線従事者を選任したときは、当該主任無線従事者に選任の日からどれほどの期間内に無線設備の操作の監督に関し総務大臣の行う講習を受けさせなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 6箇月
- 2 3箇月
- 3 5年
- 4 1年

〔3〕 次の記述は、電波の質について述べたものである。電波法の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

送信設備に使用する電波の 、高調波の強度等電波の質は、総務省令で定めるところに適合するものでなければならない。

- 1 周波数の安定度
- 2 変調度
- 3 空中線電力の偏差
- 4 周波数の偏差及び幅

〔6〕 第二級陸上特殊無線技士の資格を有する者が、陸上の無線局の25,010kHzから960MHzまでの周波数の電波を使用する無線設備（レーダーを除く。）の外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作を行うことができるのは、空中線電力何ワット以下のものか。次のうちから選べ。

- 1 20ワット
- 2 10ワット
- 3 50ワット
- 4 30ワット

第二級陸上特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 無線局において、「非常」を前置した呼出しを受信した場合は、応答する場合を除き、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 直ちに付近の無線局に通報する。
- 2 すべての電波の発射を停止する。
- 3 直ちに非常災害対策本部に通知する。
- 4 混信を与える虞^{おそれ}のある電波の発射を停止して傍受する。

〔8〕 総務大臣から無線従事者がその免許を取り消されることがあるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 免許証を失ったとき。
- 2 電波法又は電波法に基づく命令に違反したとき。
- 3 日本の国籍を有しない者となったとき。
- 4 引き続き5年以上無線設備の操作を行わなかったとき。

〔9〕 総務大臣は、無線局の発射する電波の質が総務省令で定めるものに適合していないと認めるときは、その無線局に対してどのような処分を行うことができるか。次のうちから選べ。

- 1 無線局の免許を取り消す。
- 2 空中線の撤去を命ずる。
- 3 臨時に電波の発射の停止を命ずる。
- 4 周波数又は空中線電力の指定を変更する。

〔10〕 無線局の免許人は、電波法又は電波法に基づく命令の規定に違反して運用した無線局を認めたときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 その無線局の免許人を告発する。
- 2 その無線局の免許人にその旨を通知する。
- 3 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。
- 4 その無線局の電波の発射の停止を求める。

〔11〕 携帯局（包括免許に係る特定無線局その他別に定める無線局を除く。）の免許状及び無線局免許証票は、どこに備え付けておかなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 免許状はその無線設備の常置場所及び無線局免許証票はその送信装置のある場所
- 2 免許状は免許人の住所及び無線局免許証票は総務大臣が別に告示する場所
- 3 いずれもその送信装置のある場所
- 4 免許状は基地局の無線設備の設置場所及び無線局免許証票は無線設備の常置場所

〔12〕 無線局の免許がその効力を失ったときは、免許人であった者は、その免許状をどうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 直ちに廃棄する。
- 2 1箇月以内に総務大臣に返納する。
- 3 3箇月以内に総務大臣に返納する。
- 4 2年間保管する。